

2023年11月10日

報道関係各位

IP Media Gateway「IMR-200」を用いて 秋季大祭「長崎くんち」の4K生中継をIPリモートで実現



長崎くんちの生中継映像より

※写真提供：株式会社長崎ケーブルメディア様

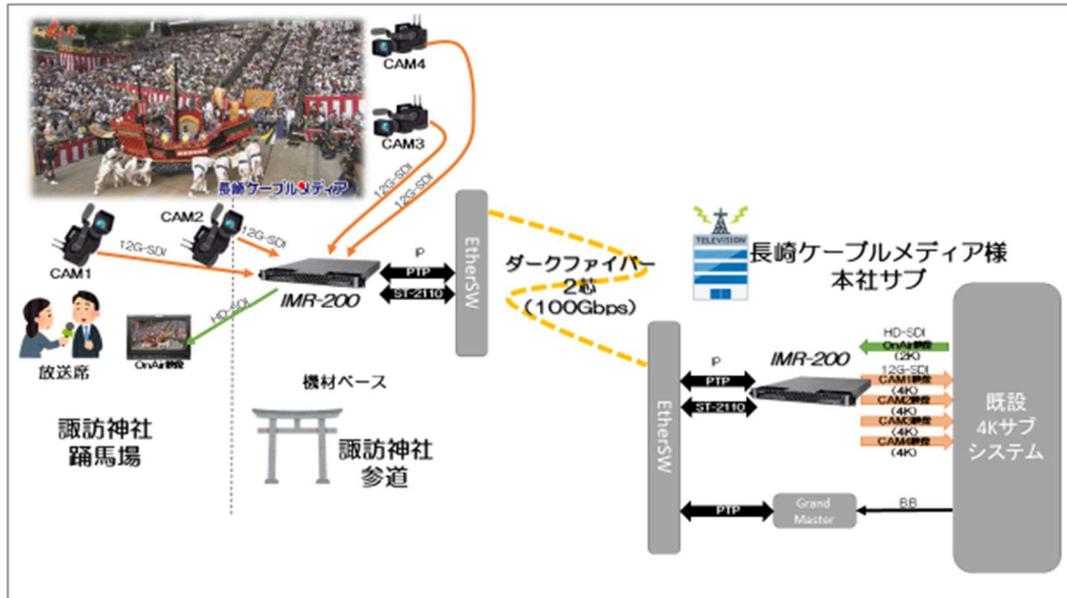
池上通信機株式会社は、秋季大祭である 長崎くんち（2023年10月7日～9日）に際して、IP Media Gateway「IMR-200」を用いた IP リモートプロダクションシステムを構築いたしました。株式会社長崎ケーブルメディア（以降、長崎ケーブルメディア）様にて 4K 生中継で運用いただき、4K 専門チャンネル「ケーブル 4K」にて全国のケーブル局様の視聴者に向けて 4K による生配信を行いました。

長崎くんちは、380年以上の歴史と伝統を誇り、長崎の氏神様である諏訪神社で開催される秋の大祭で、毎年10月7日から3日間、長崎の町を挙げて催されます。新型コロナウイルス感染症の影響により3年間中止となっておりましたが、今年は4年ぶりに奉納を行うことが決まりました。その最終日に、国指定重要無形民俗文化財に指定されている諏訪神社での奉納踊が4Kで全国のケーブル局様へ生中継されました。

かねてより長崎ケーブルメディア様では、当社の映像パケット化多重光伝送装置「iHTR-100 シリーズ」を導入いただいております。高校野球長崎県予選などのHD生中継をリモートプロダクションで実施されています。4年前の長崎くんちは中継車を利用した4K生中継でしたが、今年度はスタジオ制作設備が更新され局内で4K制

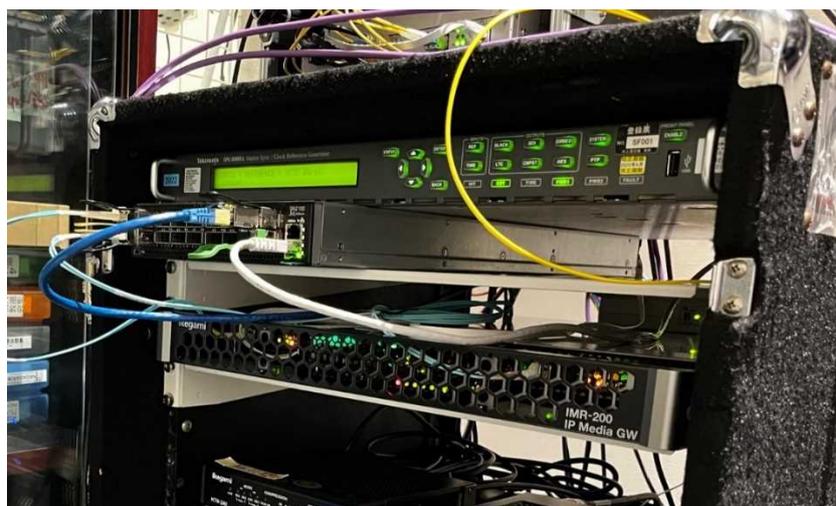
作が可能になったことから、現場となる諏訪神社の参道と本社内に設置された「IMR-200」により、IPによる4Kリモートプロダクションシステムを構築し、迫力ある4K映像を生中継で配信することができました。

今後も池上通信機は、これまでに蓄積した技術とノウハウをベースとして、新しい技術による画期的な製品開発とお客様に寄り添うソリューションの提供を通して、社会に貢献してまいります。



系統イメージ図

※写真提供：株式会社長崎ケーブルメディア様



長崎ケーブルメディア様本社に設置された IP Media Gateway「IMR-200」

【主な装置構成】

- IP Media Gateway「IMR-200」（SMPTE ST2110準拠）：2式
 - ・ SMPTE ST2110 規格準拠のSDI ⇔ IP変換機能を持つメディアモジュールを2式まで搭載可能な棚板
 - ・ 1U、奥行 500mmで、中継車にも搭載可能な省スペース設計
 - ・ 棚板へ2モジュールを搭載時、HD 32系統/4K 8系統の多系統のIP変換を実現

※製品情報 <https://www.ikegami.co.jp/product/detail/13/>

- ◆ 株式会社長崎ケーブルメディア様の公式websiteはこちらです。

<https://www.cncm.ne.jp/>

《お問い合わせ先》

- 池上通信機株式会社 営業・マーケティング本部 プロモーション室

Tel : 03-5748-2216 Fax : 03-5748-2200

E-Mail : smprm@ikegami.co.jp